

6月28日(木)から7月8日(日)にかけて西日本や中国、四国、九州地方に降った記録的な雨によって平成史上最悪の被害が発生した「平成30年7月豪雨」「西日本豪雨災害」とも呼ばれています。

8月21日現在の消防庁の発表によると死者221人、行方不明者9人、主な住宅被害は全壊が6,206棟、半壊が9,767棟に上っています。また、農林水産業関連の被害額が8月20日現在の農林水産省の発表によると約2,775億円です。死者・行方不明者が特に多かったのは、岡山県、広島県、愛媛県です。改めて心からご冥福をお祈りしますとともにお見舞いを申し上げます。

公明党議員団5人(福永信之議員、蒲生徳明議員、塩野正行議員、萩原一寿議員、権守幸男)は災害発生からちょうど1か月が経過した8月7日(火)、岡山県の中でも特に被害が大きかった倉敷市真備町に伺い、公明党岡山県本部代表代行で災害対策本部長の高橋英士県議会議員のご案内により、避難所、公明党岡山県本部の現地災害対策本部、2つの河川の決壊現場、貸し出ししている本以外、蔵書している本が全て水没した市立図書館、5メートル以上の泥水に覆われた県立特別支援学校などの被災現場へ。移動中車窓から仮置き場にまだ移動できていない道端に高く積まれたガレキをあちらこちらで目にしました。

今回、被災現場に立ってみて風光明媚の真備町は本当に災害が起こったことなのかと疑うほど本当に穏やかなところでした。視察の最後に工場の経営者お2人から、被害状況や再建に向けた市や県、国からの財政支援を求める悲痛なご相談をお聞きしました。1日も早い再建を祈らずにはられません。

私たち公明党県本部の所属議員は、被災地の1日も早い復旧復興に向け、少しでもお役に立てればとの思いから、県内の各地域で災害募金活動のお手伝いをさせて頂きました。多大なるご理解とご協力を頂きました義援金は660万円に上ります。心から感謝申し上げます。(文責・権守幸男)

